

平成28年 熊本地震における活動報告



公益社団法人 日本看護協会
Japanese Nursing Association

災害支援ナース派遣の基準

対応区分	災害の規模	派遣元看護協会	派遣調整
レベル1 単独支援対応	被災県看護協会のみで災害時の看護支援活動が可能な場合	被災県看護協会	被災県看護協会
レベル2 近隣支援対応	被災県看護協会のみでは災害時の看護支援活動が困難または不十分な場合	近隣県看護協会(被災県看護協会を含む)	日本看護協会
レベル3 広域支援対応	被災県看護協会及び近隣県看護協会のみでは災害時の看護支援活動が困難または不十分な場合 支援活動が長期化すると見込まれる場合	全国の都道府県看護協会(被災県看護協会および近隣県看護協会を含む)	



災害支援ナースとは

看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職のことであり、都道府県看護協会に登録されている。

登録者数

7,771名 (平成27年3月末現在)



平成28年熊本地震 災害の概況

■災害概況

- 平成28年4月14日 21時26分 最大震度7
- 平成28年4月16日 1時25分 最大震度7
その後も余震が1,600回以上発生

■熊本県・大分県における被害状況

死者:49名

負傷者(重軽症者):1,663名

避難者:183,882名(最大)

住宅被害:全半壊 27,209棟



内閣府:平成28年(2016年)熊本県熊本地方を震源とする地震に係る被害状況等について(平成28年5月31日10時現在)

■会員の被害状況

死者:1名

出勤できない看護職※:27施設 計30名

避難所から出勤している看護職※:82施設 計230名(最大25名)

熊本県看護協会:平成28年熊本地震 会員施設の被災状況調査結果(平成28年5月13日時点 平成28年6月6日分とりまとめ内容より)



活動経過1

月日	対応	災害支援ナース派遣状況
4月15日	熊本県より熊本県看護協会に対して災害支援ナースの派遣要請あり、 レベル1 としての対応が決定	
4月17日		レベル1での派遣開始(熊本県看護協会)
4月18日	本会危機対策本部において レベル2 への移行を決定	
4月20日		レベル2での派遣開始(福岡県、宮崎県、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県看護協会より)



活動経過2

月日	概要	
4月21日	本会危機対策本部において レベル3 への移行を決定	
4月29日		レベル3での派遣開始(レベル2での派遣元県看護協会に加え、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、山口県看護協会)
5月31日	本会危機対策本部において レベル2 への移行を決定(6月10日までを予定)	
6月1日		レベル2での派遣開始(大分県、宮崎県看護協会)

5月末日時点で

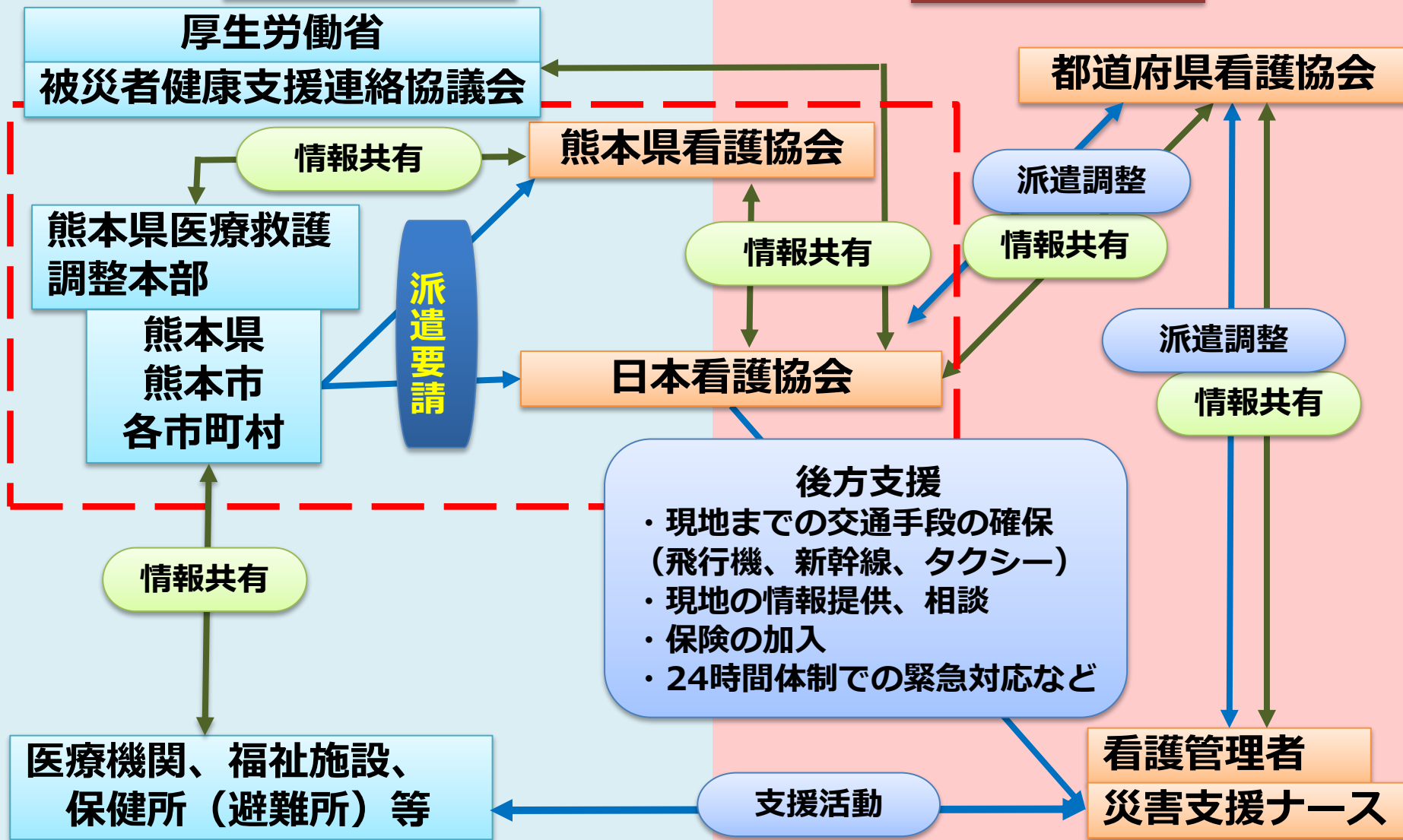
計15都道府県看護協会より延べ1,614人が計28ヶ所の避難所で活動



災害支援ナースの派遣調整

派遣要請

レベル3対応



災害支援ナースの活動内容

災害支援ナースの衣食住は全て自己完結とし、
3泊4日で避難所に常駐、被災され自宅に帰ることができない
人々の生命と暮らしを守るための支援を実施

- 自宅の片付けで負傷した人への**創傷処置**
- 避難所の環境整備や手洗い指導などの**感染症対策**
- **服薬**に関する相談と助言
- 体調不良者の**受診支援**や**医療チームへの橋渡し**
- ラジオ体操や運動の推奨など
- **エコノミー症候群の予防**
- 救急搬送など**急変者への対応**
- 高齢者や妊産婦、障がい者など
災害時要援護者の個別の対応



インターネット配信研修【リアルタイム】

「災害支援ナースの基礎知識～災害看護の第一歩～」

日時：**平成28年7月6日（水）、7日（木）**

内容：災害医療の基礎知識

災害時に求められる看護支援活動

災害時の心理変化とこころのケア

看護協会の災害時看護支援活動

災害時の保健師の役割

と災害支援ナースとの連携

災害支援ナースとしての

心構えと活動の実際



詳細は神戸研修センターまたは各都道府県看護協会まで

